



特定非営利活動法人
富山県防災士会 会報
(NPO 法人日本防災士会・富山県支部)

第 37 号
令和 5 年 10 月 1 日
発行 富山県防災士会
連絡先 090-3760-3702
(事務局長：上田)

令和 5 年度
第 1 回 防災士会スキル研修会の開催
(3 年ぶりの懇親会も併せて開催)

7 月 15 日 (土) 今年度 1 回目となるスキルアップ研修会が富山県民会館で開催され、74 名の参加がありました。当初、会場を富山県防災危機管理センターで計画していましたが、7 月 12 日夜から 13 日にかけて発生した富山豪雨の影響により対策本部が設置され、急遽会場変更となりました。



(富山大学 竹内名誉教授の講演を聴講する参加者) (竹内 章 氏)

研修は 3 部構成で、まずは「珠洲群発地震について理解しよう」と題し、竹内章先生 (本会顧問) の講演がありました。地殻で覆われた地球の地震の基本的なメカニズムから、動いている地殻をアニメーションによって表現され、珠洲群発地震に関与した超臨界状態の深部流体の説明がありました。更に、この深部流体が南海トラフ地震でも北陸内陸地震として連動していく可能性について触れられました。我々防災士にとって、知識の習得だけでなく、南海トラフ地震に対する備えの必要性について知る有意義な講演であったと思います。

引き続き、吉澤理事長から富山県防災士会の活動意義や組織の位置付け、取組みを強化している地区防災計画について、研修を受けました。最後に、「日本の大雨はどうなっていくのか?」と題した上田事務局長の研修があり、温暖化が人間活動に起因するとの知見の紹介や、短時間強雨の発生頻度が増えていること。線状降水帯のしくみについてなど、とても分かりやすく、本会会員の方には、ぜひ聞いていただきたい内容と感じました。



(富山県の気候変化)



懇親会では、3 年ぶりの時間と距離を埋めるべく、席を移動しながら酌み交わし、交流が進みました。竹内先生からは断層調査中の骨折のお話など、講演会では決して聞けないお酒の入った軽妙な語り口で伺い、先生のお人柄を感じることができました。今回の研修は、コロナ

禍により zoom などの便利なツールを活用しつつも、ヒトとヒトが直に語り合う大切さを改めて感じる機会となりました。これらすべてを富山県防災士会の今後の活動に活かしていきたいと思えます。(記 佐伯 ゆ)

富山県総合防災訓練が高岡市一円で開催
(テクノドーム・伏木富山港・
野村小・下関小・二塚小を拠点に)

8 月 27 日 (日)、令和 5 年度富山県総合防災訓練が高岡テクノドーム及び伏木富山港左岸 1 号、2 号岸壁で。併せて高岡市総合防災訓練が野村小学校及び下関小学校、二塚小学校で開催されました。

今回の災害想定は、高岡市、氷見市、小矢部市において、大雨・洪水警報・土砂災害警戒下での豪雨被害と邑知潟断層帯を震源とするマグニチュード 7.6 による地震被害が同時に発生している想定での訓練でした。

参加機関は 133 団体であり、富山県防災士会は、NHK 富山放送局 (初参加) さんと同一ブースで、災害啓発に取り組みました。また、高岡市社会福祉協議会が、先の 7 月豪雨災害でのボランティアセンター開設状況の実演や状況パネルの展示をされており、自然災害による被災復興を一層身近に感じました。



【高岡テクノドーム会場 (博労防災会・富山県防災士会が参加)】



一方、野村や下関、二塚の各小学校では、指定避難所であることから住民避難者の受け入れ訓練、消火訓練、緊急物資搬送・受入訓練等が行われました。

参加された本会会員や博労防災会、野村防災会の皆様、お疲れ様でした。(記 吉澤)

防災士 松原 美由紀 (富山市)

会 員
自己紹介

平成 17 (2005) 年「ポリ袋に食材を入れて調理する方法があるらしいよ…」の言葉を聞き、興味を持った私は東京へ講習を受けに行きました。当時、ポリ袋で調理する「パッククッキング」は、介護食や離乳食等に役立つ調理法として、介護雑誌「タベダス」(現在は廃刊)が普及し始めたばかりでした。このパッククッキングを災害時に役立つ調理法として、防災士資格を持つ男性たちが「パッククッキング倶楽部防災部会」と銘打って普及活動をしており、それが私の「防災士」資格を知るきっかけでした。



仕事柄、災害時の食支援に関わるため、平成 28 (2016) 年「JDA-DAT」日本栄養士会災害支援チームの資格を取得、さらに、しっかりとした災害対応の知識を得るため、平成 30 (2018) 年「防災士資格」を取得しました。

災害はいつ起こるかわかりません。「イツカ」のための備えではなく「イツモ」の備えにするために、日々の生活から防災知識を取り入れることをお伝えできたらと思います。

北信越支部連絡協議会総会及び研修会

北信越支部連絡協議会総会が令和 5 年 6 月 11 日 (日)、福井県織協ビルにて開催されました。富山県支部からは、吉澤理事長、島崎副理事長、八木副理事長、上田事務局長が会場参加し、江尻副理事長は Zoom 参加しました。

また、福井県支部、石川県支部は会場参加、新潟県支部、長野県支部は Zoom で参加されました。

令和 4 年度の活動報告および 4 年度収支決算報告が石川県支部からあり、監査報告の後、5 年度活動計画および予算について、今年度の担当となる福井県



(Zoom 参加のスクリーンと一緒に撮影)

支部から説明され、全議案について満場一致で可決されました。総会終了後の研修会では、岡本拓夫福井県支部長による「地震学と福井県」と題した講演。そして室崎益輝日本防災士会理事長による「減災と新たなコミュニティ」と題した講演が行われました。

講演の中で室崎理事長は、減災の重要な役割はコミュニティに防災の重要性を認識されることが重要であり、そのために防災士の果たす役割は大きく、地区防災計画の推進が非常に有効であると説明されました。防災士としての役割と地区防災計画策定に向けた支援の重要性を改めて確認できた講演でした。

富山県防災士会 広報部では、皆様の活動情報をお待ちしています。連絡先：090-3760-3702 (上田)

第 2 回 スキルアップ研修の開催

9 月 9 日サンシップとやまで、今年度 2 回目のスキルアップ研修が開催され、26 名の参加がありました。

テーマは「ロープワークの実践」で、防災士として必要なロープワーク及び避難時のロープ利用を学び、災害現場や避難時に役立てようというものです。

講師は防災士会理事の堀内昌樹氏が担当され、もやい結び、テグス結び、二重テグス結び、二重 8 の字結び、連続止め結び等、多彩なロープの結び方について実演しながら説明されました。



(結び方の実演をスクリーンに写して説明する堀内講師)

会場には講師の手元を映すカメラとプロジェクター、スクリーンが準備され、参加者はスクリーンに映し出された講師の手元を見ながら、自席に用意されたロープで結び方を実習するといった方法で進められました。

堀内講師の丁寧な説明とむずかしい手順は、何度もゆっくり繰り返し実演いただくことで、受講された皆さんも徐々にコツをつかんでいるようでした。また、講師の説明映像が消えて、個々の実習時間になると悪戦苦闘している参加者もおられ、講師が席まで出向いて手解きする対応が何回もありました。結び方を覚えて帰ってほしいという講師の熱い思いが感じられ、とても良い研修会でした。



お知らせ

日本防災士機構主催の講演会が富山市のサンシップとやまで開催されます。富山県防災士会も協賛しています。

【日時】令和 5 年 11 月 4 日 (土) 13 時～16 時
(受付開始は、12 時 20 分です。)

【場所】サンシップとやま (富山市安住町 5-21)

【内容】列島縦断「防災・減災公開講座」in 富山
(詳細は郵送のチラシを参照ください)

富山県防災士会として、一括申し込みします。

下記 URL もしくは QR コードから申し込んでください。

URL : <https://forms.gle/75SE6qsSTREQ1Sxg7>



(会員申込サイト)

※会場の駐車場はすぐに満車となります。お早めにおいでください。満車の際は、近くに県職員の駐車場があります。会場にて防災士会の役員へお尋ね下さい。